

自立就労支援センター いしびぎの支援の実際

社会医療法人財団松原愛育会 就労支援センター 主任
精神保健福祉士

林田 雅輝



金沢市在住で、精神に障がいを持ちながら、就労している方は、平成22年で277名。精神障がいの方の就職者数は年々増加傾向にあります。(表1)

自立就労支援センターいしびぎ(以下いしびぎ)が、現在の場所に移転したのは、平成21年1月、以前は、地域活動支援センターピアサポートいしびぎと併設していました。「仕事をしたいのですが・・・と、門を叩いてくる方たちのお話をお伺いすると、ここに来るまでにごだけ苦労されたかが伝わり、襟を正す思いになります。」

【就職先を探す】
就労支援と一言でいっても中身は様々な個人の特性を考えて、希望に合った就職先をハローワークと協力して時には自ら職場開拓を行い、探します。昨年は、スーパーやレンタルビデオ店、建設会社の事務、農業、

清掃、弁当製造などに就職。珍しいところでは、金沢市と協力し、金箔貼りをしている方もいます。

【気づきを大事にする】
地域で暮らしている方に対して、スタッフが指導的、管理的に接することはほとんどありません。会社に行ったら、自分のことを自分で伝えないといけない場面がいくつもあるからです。何が自分にとって必要で、どう伝えたらいいのか。そのことを一緒に考えるのも大事な支援になります。(図1)

【気づき】は、双方のコミュニケーションから生まれる火花みたいなもの。当然、支援者にも気づきは生まれ、そのことを共有することで利用者の自己理解が深まってきます。(図2)

【受ける側から与える側へ】
人に名乗る時、「○○で○○をしている

林田です」と会社名と職種を言います。所属と役割を他者に語れることは、自分が自分であることの支えになります。「○○病院の患者の○○です。」としか語れない存在ではなく、誰かの役に立っている自分でありたいとは、皆が望むことではないでしょうか。自分の体験を「語る」ことで、聞いた人が励まされたり、障がいへの理解が深まったと喜ばれることが少なからずあります。自立就労支援センターいしびぎでは、自分を語る場として、セルフヘルプの場や、学校の授業、地域のセミナーや学会での発表と、当事者活動にも支援を行っています。支援のキーワードに「自己決定を保障する」という言葉がありますが、「自己決定を保障する」という言葉を豊かにすること、自分のプランを持ち、他者と絆で繋がっていくことは、「自分らしくあること」において、大切な気がします。

【そして、地域へ】
他者に言われたらという気持ちは、地域へと、形を変えていきます。お年寄り地域福祉支援センターとびうめ(法人が運営している金沢市委託の地域包括支援センター)から、とびうめボランティア講座に出させてもらい、当事者と地域の方が活発に意見交換をしたり、町内のお年寄りの庭の草むしりや、今年8月にふれあいバザーで地域の方と交流ができました。また、町内の新年会に呼ばれたり、班長をさせて頂き、会議にも参加させていただきました。このことが地域の声を直接聞く機会として生きてきています。地域とのつながりをなくしての支援はあり得ないと、実感しています。

【自立就労支援センターいしびぎの概要】就労支援(就労移行支援事業)定員15名、就労継続支援事業B(型)定員19名、生活訓練(定員6名)を行っており、現在、96名の方が登録。昨年は、11人が就労、今年度は、6名が就労中。(8月現在)

目次

vol.10
2011. 12月

特集

「自立就労支援センター いしびぎの支援の実際」

就労支援センター 主任
林田 雅輝

…2-3

- ・第20回松原記念講演会開催
- ・病院基本方針一部改訂
- ・認知症総合センター
- ・M-ECO(エム-エコ)活動結果報告
- ・新患外来担当の2人体制スタート
…4-5
- ・こころの健康政策署名活動
- ・地域連携室 News
- ・とびうめ健康まつり
- ・ヘルパー2級養成講座
- ・feature KANAZAWA
…6-7

(図2) 色々な気づきのエピソード

接客は、笑顔が大事って講座で習ったけど、わし、笑ってたら、薬ふやされたわ…。

接客の奥深さを考えるNさん

林田さん、働いている人ってこんなに大変なんですね。健常者も大変なんだなあ…。

店長、全然寝てないっていったから、大丈夫かなあ。店長の愚痴も聞いてあげなきゃ。店長のことを考えたらがんばれたHさん

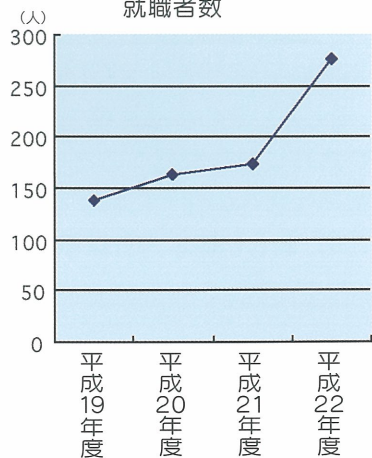
どんなに支援しても仕事が続かなかったBさん。しかし、今の仕事はなぜか3年続いている。なんで?

若い女の人とたくさん話せるから。

休みの日も会社に行き詰。

仕事が続く理由は、人それぞれと気づかされたソーシャルワーカー…

(表1) 金沢市の精神障がい者就職者数



(図1)

そしたら僕らはお医者さんから「統合失調症」と診断されたけれど、生活の中では統合失調症=ぼく、じゃないわ。だって、本と書いてあることが違うもん。

らたん、アロレッシュに弱いSさん

じゃあ、自分のことはちゃんと説明するん?

さみしがりや、人見知り、不眠症の。一度にふたつのことするのが苦手の、華飯まんはんの、人の顔色気にする、ストレスに弱い病...

自分の病をよくわかってるSさん

自分の言葉で病気を説明することで理解とコミュニケーションが生まれる。